

マダイの資源調査を実施しています

愛知県のマダイ漁獲量は1990年代以降、200t前後で推移していましたが、2014年頃から増加しており（図1）、資源動態が大きく変化していると考えられます。このことから当グループでは、マダイの資源調査を実施しており、今回は近年の若齢魚資源の加入状況について紹介します。

まず、伊勢湾で行っている夏季の小型機船底びき網の試験操業では、マダイ当歳魚（その年に生まれた魚）が2023年に多く採集され（図2）、2024年は1歳魚が多く採集されたことから（図3）、2023年生まれの加入が良好であることが分かりました。この要因については、水温や餌環境など複合的な要素が考えられますが、2023年はマダイの孵化～仔稚魚期である春季の水温が過去4年平均と比べて高かったことから、マダイ仔稚魚の生残に有利な環境であったと考えられます。今後、この2023年生まれのマダイは漁獲主体のサイズ（30～40cm）に成長することで本格的な漁獲が期待されます。若齢魚の加入状況の把握は、その後の漁況予測や、生活史の把握、効果的な資源管理の取組の検討にも繋がることから、今後も試験操業や市場調査等を通じてマダイ資源の動態調査を進めていきます。

漁業生産研究所 海洋資源グループ

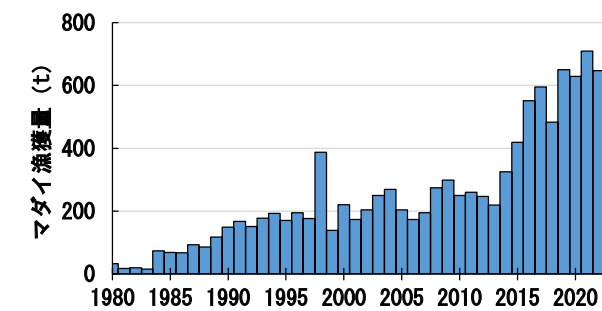


図1 愛知県のマダイ漁獲量の推移

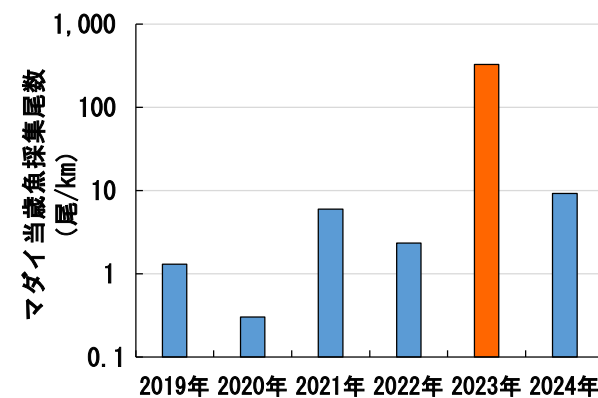


図2 伊勢湾夏季の試験操業におけるマダイ当歳魚採集尾数（尾/km）

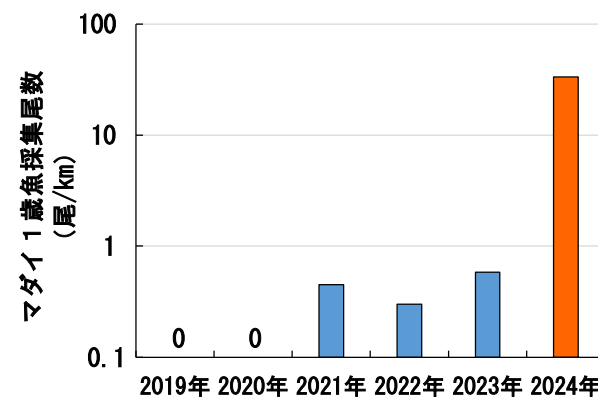


図3 伊勢湾夏季の試験操業におけるマダイ1歳魚採集尾数（尾/km）

漁海況の情報発信を大幅にリニューアルしました!!

企画情報部 企画普及グループ

水産試験場では、三河湾海況自動観測バイ情報、貧酸素情報、黒潮流路など様々な漁海況情報をWeb ページで漁業者等に提供しています。

このたび水産試験場の情報発信を大幅にリニューアルして、漁海況情報をスマートフォンで見つけやすく、また、視覚的にわかりやすくしました。また、自分に必要な情報の更新があれば LINE(ライン)でお知らせする機能を追加しました。

漁船漁業の操業計画の立案やのり養殖の網管理などにお役立てください。

新しいWeb ページは、右の二次元バーコードを読み込んでアクセスしてご覧ください。（LINE 登録方法もこちらを参照ください）


<https://www.suisanshiken.pref.aichi.jp>
伊勢・三河湾の自動観測バイ情報
（水温・風・溶存酸素など）

[表層水温]

[風]

【スマートフォンの画面】

[各バイの観測データ]
伊勢湾の観測情報
(中部地方整備局)も
見ることができます

黒潮流路の情報



貧酸素情報

気象、風、潮位など
リンク集を充実させましたマイページで表示させる
情報をカスタマイズ

(画面はイメージです)

